

## 平成22年度 JSAF 外洋合同会議 議事録

平成23年2月12日13:00～13日12:00

於 鹿児島県 レインボー桜島 会議室

出席者: 林外洋計測委員長 鈴木外洋総務委員長 大村外洋ルール小委員長 横山(ORCAN)水越(ORCAN)  
伊良波(沖縄) 宇都外洋南九州会長 剥岩(南九州)田原(南九州) 白石(玄海) 井原(玄海)  
水上(玄海) 田村(西内海) 山本(西内海) 永松(内海) 上阪(内海) 守本(近北) 三浦  
(東海) 藤田(駿河湾) 榛葉(湘南) 松村(湘南) 飯沢(湘南) 田中(外洋安全) 高橋(宮  
城外洋帆走協会) 山下(三崎) 羽柴外洋レース小委員会委員長代行 小林国際委員 大坪外洋安全  
委員長 吉田理事(IRC) 高橋(三崎) 中里(三崎)  
峯(長崎外洋帆走協会) 塩脇(長崎外洋帆走協会) 川合(東海) 伊藤(X35協会) 寺澤(JSAF  
事務局) 長谷川(IRC) 坂本(IRC オーナーズ協会事務局) 角(IRC RO)  
飯塚(内海) 富川(東海) 竹内(IRC) 高野(セイルメジャラー部会チーフメジャラー)  
山本(東京湾)(敬称略、順不同)

川合の進行で開会

林委員長による挨拶

参加者及び開催にお骨折り頂いた南九州諸兄に感謝  
合同委員会を開催できた事を喜ばしく思う。  
加盟団体も委員会活動をご理解頂き、ご協力を。

宇都南九州会長挨拶

南九州で合同委員会を開催出来たことを喜びとする。  
温泉で骨休めも。

川合

議事進行について

参加者自己紹介

鈴木外洋総務委員長

参考資料Aを参照 JSAF 内部での位置づけ。

JSAF 内部で外洋特別会計化

登録艇の増加を目指す

外洋全体での会議のあり方

外洋会議の開催(年2回)

合同会議(年1回)

専門委員長会議(適宜)

本来は理事会で最終決定であるが、外洋部分の決議は上記の会議で外洋の意思決定を行う。

2年後の新公益法人化に向け理事、評議員数は減少する。

統合時にはJ系、N系のメンバー数の比例で選出されていた。

メンバー数が減少している。オープンレースは活発であるが、より加盟団体と連携し対応したい。

艇登録については、パンフレットを作成し啓蒙に努めたい。しかしその際会費の記載で困惑した。加盟  
団体間で統一できぬものか。

#### 羽柴外洋レース小委員長代行

JSAF 内部での位置づけ。

年 2 回の会議を開催。

水域での担当者リスト作成。関東以北で手薄である。

外洋小委員会の業務について。

レースマネジメント業務

レースオフィサーの認定、講習。

外洋レースガイド WEB に資料を掲載。

JSAF 規則 主催・共同主催 レースマネジメントマニュアル レースオフィサー

外洋レースガイド シンプル NOR シンプル SI

JSAF 運営規則第 2 章について

簡略化し、現状に合わせる方向。

外洋小委員会は予算が無いので、是非とも外洋総務委員会で対応して頂きたい。

質疑 藤田（駿河湾） レースリザルトの収集はどうなっているか。JSAF のレースのみであるか、オープンレースの扱いは。

A. 全て欲しい。

関連発言 吉田（IRC）IRC レースリザルトも RORC へ送付するので、お送り頂きたい。

#### 小林国際委員

国際委員会の構成

ISAF、ORC 等国際情報の収集、報告。

IRC,ORC の統合については端緒についたばかりで、ポリシーのみ。具体化は当分見込めないと判断。

JSAF のアジアでの位置づけ、特に中国、韓国で活発化しているレース。柴沼氏の中国・韓国に於ける人的パイプは重要。

#### 大村外洋ルール小委員長

JSAF 内部での位置づけ 委員会構成

活動報告 活動計画

RRS 関係 エンジンの使用に関して。IRPCAS との関係。

外洋レース規則について。

外洋系ルールの代表者及びジャッジの育成。

質疑 羽柴外洋レース小委員長 レガッタレポート収集は如何か

A. 殆ど集まっていない。

#### 小休止

#### 大坪外洋安全委員長

(1) 委員会の組織・位置づけ

配付資料の通り。

(2) JSAF 外洋特別規定＜現状及び 2011 年度＞

「検査」ではなく、レギュレーションである。オーソリティが認可はしない。

ISAF の定める OSR が基本である。

適用期間の改定 従来 15 ヶ月遅れで適用していたものを同年 4 月からの適用とする。

ISAF では RRS と同様に 4 年毎の改定を検討中。

モノハル3～6のみ。 それ以外のカテゴリーは現在の日本では現実的でない。  
運用は自己責任が基本。 夫々のレースコミッティに申告する。  
シリーズ内での異なるカテゴリーの採用を可とする。

質疑 榛葉(湘南) JSAF OSR 運用の追記-2は規定の変更ではないか? レース委員会(主催者)に判断を委ねるのはいかがなものか?

A. 現状は誤記の訂正で止むを得ない。2012年からは追記は無いようにしていきたい。

藤田(駿河湾) オーナー向け講習会の開催予定は

A. 明日南九州で、その後外洋湘南で開催予定である。詳細は後の段(4)にて説明する。

(3) JSAF 外洋特別規定<2012年度の予定>

配付資料の通り

(4) JSAF 外洋特別規定・解説講習会の開催について

配付資料の通り。詳細は新しいホームページに掲載。開催の主催者はあくまでも加盟団体である。

(5) 通信に関わる事業

配付資料の通り。

旧通信委員を外洋安全委員会担当者として追加登録の用意はある。別紙の現状の名簿の間違いないかという確認と共に追加登録のある団体は連絡が欲しい。

国際 VHF 無線・免許講習会を予定しているが、JSAF の主催はリスクがあり、現在民間会社(舵社)とタイアップの計画を持っている。その他民間の講習会を広報する予定。

日本特記事項の変更

25W VHF 搭載義務

フラッシュライトがLEDの場合、予備球の搭載は不要。

ライフジャケットライトは規定通りとする。

講習会の開催について

@¥1,000 とし、15名～50名

約半日(例 13:00～17:00)

VHF

JSAF が主催(リスクあり)

民間とタイアップ(KAZI)

民間の講習会を広報

質疑 中里(三崎) タイアップの場合の費用は

A. KAZI 社の場合3級¥23,000 を10%オフ

飯沢(湘南) 認定講習か

A. 試験あり(しかし、現実的に殆ど合格の模様)

関連発言 高橋(宮城外洋帆走協会) 直接受験もあり。費用安く4択の問題。

藤田(駿河湾) 是非とも JSAF 海岸局を残すべきである

A. 了解

横山(ORCAN) レーダーリフレクターの基準は

A. 平成22年10月以降の新造は新基準(JCI)SRとの整合性は判明次第HPに掲載する。

関連発言 井原(玄海) 71ch 74ch は JSAF 登録艇以外は使えない。アリランレースでの事例。

吉田(IRC) 講習会にも出ない意識の低いオーナーへの対応は

A. 特に無し。

吉田理事 (IRC)

資料説明

統計資料説明

各国の増減

加盟団体別取得状況

国際 IRC オーナーズ協会での投票権数

申請推移

事業計画

配布資料の通り

長谷川 (IRC)

会計報告

角 (IRC RO)

コンGRESS報告及び議事録について

角、長谷川、オーナーズ協会会長斜森氏と参加 (イスタンブール)

ルール変更について

ショートハンド証書について

ローラーファリングヘッドセール

クルーリミット クルーリミットの適用がデフォルトとなる。採用しない場合は NOR に記載。

FL・Jの計測方法変更

吉田理事 (IRC)

加盟団体の協力体制について感謝したい。

質疑 松村 (湘南) 新規アプリケーションは変更があるのか

A. 日本語版は未だ RORC から戻っていない。新規があれば当面英語版で対応して欲しい。

高野セイルメジャラー部会 チーフメジャラー

位置づけ

組織及び業務内容

会計報告

児玉常務理事

挨拶 南九州に感謝

第2日 9:00開会

2月13日の出席 末松 (玄海) 久芳 (玄海) 白石 (玄海)

川合の進行で開会

横山 (ORCAN)

組織

発行実績 100 (ORC-I 2、ORC-C 98)

世界的に復活傾向にある。

ORC-I と ORC-C で同一のプログラム  
ORCAN ではターゲットボートスピードを添付している  
ORC sailors services が開始されテスト証書を 10€ で入手できる  
2011 変更点

ウオーターバラスト計測方法の変更  
クルーがシアーラインを超えてポジショニングする際の規定は新設された  
バウスプリットがセンターラインから横動く際の規定が新設された  
メインファラーの有無を記載する様になった  
ジェノアフアラーの判断基準の変更  
スタンディングリギンの断面形状について申告項目新設  
メインセールガースのデフォルト値変更  
ジブ・ジェノアの文章表現の変更  
スピナーカー・CODE 0 のデフォルト値・下限値が変更  
オーナー責任に変更  
C/R レギュレーションに変更

パフォーマンスパッケージについて

質疑 高野セイルメジャラー部会チーフメジャラー ストームジブ ヘビーウエザージブの数値はどこから引用しているか

A. 検証していない、問い合わせの上回答する。

水越 (ORCAN)

IMS ルール・ORC ルールは計測規則である。G P クラス等にも使用される。

タイムアローワンス表が ORC レーティング

シングルナンバーハンディキャップと比較して

シングルナンバー 不正確

トリプルナンバー クラブラース 地方選手権 国内選手権に使用

Low ~ 9 kt Mid 9 ~ 14 kt High 14 kt ~

使用レンジは S I に明記する事

PLS クラブラース 地方選手権 国内選手権に使用

8 kt 16 kt を直線補間 レース中にスクラッチシートが判りにくい

テラーメイド

クラブラース~世界選手権

気象データにより風向風速を予測し、そのレース独自のハンディキャップ。

シングルナンバー、TOT レース中の順位予測が容易

風の予測が正確であれば、精度は P C S 並み

2009 年パールレースでの使用実績あり

ORCAN がサポートし、全て作製するサービスも選択できる。

初回は無料、2 回目からは ¥ 5,000/レース +

今後のテラーメイドは他のタイプ (W/L5 レグ、10~20 kt の W/L、6~15 kt の Ocean 等)

の開発を検討

ORC の WEB に於けるサービス

Sailors Service

RMS ファイルのダウンロード  
IMS エディター

質疑 高野セールメジャラー部会 チーフメジャラー IMS エディタを使用してデータ送付も可能であるのか  
A. 可能である。但し、英語版であるが。従来のインプットシートでも OK..

全体討議

児玉常務理事

理事改選

山崎会長の退任 次期会長は河野博文氏。  
理事選挙で外洋系は児玉、鈴木國夫、中澤が立候補し中澤が落選であったが、外洋系の重要性を鑑み、会長推薦で理事就任となった。

新公益法人

評議員数の減 加盟団体・特別加盟団体の利益代表ではなく、評議員選定委員会による選出となる

外洋系の今後

外洋レースの復活  
インショアレース  
オフショアワンデザイン  
安全の基盤整備（対、国との折衝）  
生涯スポーツとしての外洋ヨット

羽柴外洋レース小委員長

23～24年の外洋レース小委員会

外洋系レース委員を選定し活動を始めたい。  
関東以北が手薄である。  
委員会への出席できる委員の選定を（宮城外洋帆走協会 高橋氏に依頼）

大村外洋ルール委員長

ルール委員募集の件

児玉常務理事

JSAF 表彰規定

LL 稲葉氏が対象となった。

大島レース 60年の実績で外洋湘南 田中氏。

団体・チームに与える規定が無い、また、ブルーウォーターメダル等、長距離航海に対する表彰も無い。  
外洋系に対応した規定の改定が必要である

対象者を求める。

榛葉（外洋湘南） レース旗（NORC）の使用について

羽柴外洋レース小委員長 特に規定は無い。レースコミッティの判断に任せる。使わない方向ではない。

大坪外洋安全委員長 VHF 普及について 衝突防止が主たる目的である。

吉田理事 次年度、合同会議開催場所について、仙台とする方向で、高橋（宮城外洋帆走協会）にご尽力頂く。

水越（ORCAN）ORC 関係の書類が公表される時間的關係で、もう少々後にずらせぬか。  
JSAF の他の会議等の関連で困難であると思われる。

林外洋計測委員長 総括

長時間お疲れ様でした。

加盟団体の参加によるレベルアップが心強い。感謝する。

来年、仙台で。

2月13日 12:00 終了